



青の世界

2007年7月26日(木)▷2007年9月25日(火)

休館日 8月29日と9月中の毎週水曜日

青は精神と孤独、憧憬と郷愁の色であり、悲哀と沈静をあらわし、若い心の不安と動揺をつたえる。青は又抑制の色であって、絶えず心の奥に秘められて、達することの出来ない願望の色である。

(東山魁夷『青の世界』 1976年 美術出版社)

No.	作品名	制作年	分類	取材地
本制作				
1	白馬の森	1972	本制作	山梨県 富士山五合目のブナ原生林
2	水辺の朝	1972	本制作	ドイツ北部 オイティーン
3	夕静寂	1974	本制作	長野ー岐阜県 奥穂高
4	春 兆	1982	本制作	デンマーク コペンハーゲン
5	夕星	1999	本制作	
初期スケッチ				
6	夕影	1933~ 1935	スケッチ	ドイツ バイエルン地方
7	遠望 (海上より)	1935~ 1945	スケッチ	
8	夏の日	1940~ 1945	スケッチ	
9	長 城を望む	1943	スケッチ	中国 承德
北欧風景				
10	白 夜	1962	スケッチ	スウェーデン
11	ハルダンゲル高原	1962	スケッチ	ノルウェー ハルダンゲル高原
12	湖上の城	1962	スケッチ	デンマーク
13	白 夜光	1962	習作	フィンランド
14	二つの月	1962	スケッチ	フィンランド
連作“京洛四季”				
15	土 塀	1964~ 1966	スケッチ	京都府 天竜寺
16	壬生狂言	1964~ 1966	スケッチ	京都府 壬生寺
17	宵山	1964~ 1966	スケッチ	京都市 鉾町
18	祇園まつり	1964~ 1966	スケッチ	京都市 山鉾巡行
19	千灯会	1964~ 1966	スケッチ	京都府 念仏寺
20	夕涼	1964~ 1966	習作	京都府 修学院離宮西浜
21	青い峡	1964~ 1966	習作	京都府 周山街道

22	夏深む	1964~ 1966	習作	京都府 勸修寺
ドイツ・オーストリアの旅				
23	青い窓	1969	スケッチ	ドイツ
24	バンベルクにて	1969	スケッチ	ドイツ バンベルク
25	家並	1969	スケッチ	ドイツ
26	酒場の看板	1969	スケッチ	オーストリア
27	白馬亭	1969	スケッチ	オーストリア
28	鐘 楼の窓	1969	スケッチ	オーストリア
連作「古都を描く」				
29	朝の聖堂	1969	習作	ドイツ リンブルク
30	古都遠望	1969	習作	ドイツ ヴィムブヘン
31	みづうみ	1969	習作	オーバー・ゼー
32	ホーエン・ザルツブルク城	1969	習作	オーストリア ザルツブルク
連作“白い馬の見える風景”				
33	草青む	1972	習作	デンマーク ヒレロード
34	白馬の森	1972	習作	山梨県 富士山五合目のブナ原生林
35	曠野	1972	習作	
大和春秋				
36	松と月	1973~ 1985	スケッチ	奈良県
37	布留の森	1973~ 1985	スケッチ	奈良県 布留
38	石佛	1973~ 1985	習作	奈良県
唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 日本の山・海				
39	瀧の音	1973	スケッチ	
40	潮 声	1973	スケッチ	
41	波頭	1973	スケッチ	

42	しょうとう 松 濤	1973	スケッチ	
43	うみかぜ 海風	1973	スケッチ	
44	せいとう 青濤	1973	スケッチ	
45	まつ いわ 松と岩	1973	スケッチ	
46	なみさ はしん 渚の波紋	1973	スケッチ	
47	とうせい 濤声	1973	中下図	
48	とうせい 濤声	1974	試作	

唐招提寺御影堂障壁画のための準備作
中国の風景

49	けいりん きほう 桂林奇峰	1976	スケッチ	中国 桂林
50	りこうせんり 灘江千里	1976	スケッチ	中国 桂林
51	けいりんさんすい 桂林山水	1976	習作	中国 桂林
52	そうげんほうく 草原放牧	1977	スケッチ	中国

53	はいきょ ゆう 廃墟の夕	1977	スケッチ	中国 西域
54	はいきょ げんそう 廃墟の幻想A	1977	スケッチ	中国 西域
55	はいきょ げんそう 廃墟の幻想B	1977	スケッチ	中国 西域
56	はいきょ げんそう 廃墟の幻想C	1977	スケッチ	中国 西域
57	むこ ことう 蕪湖の古塔	1978	スケッチ	中国
58	ほうらいさんとう 蓬莱三島	1978	スケッチ	中国 黄山
59	しょうしょうほう の本 上昇峰を望む	1978	スケッチ	中国 黄山

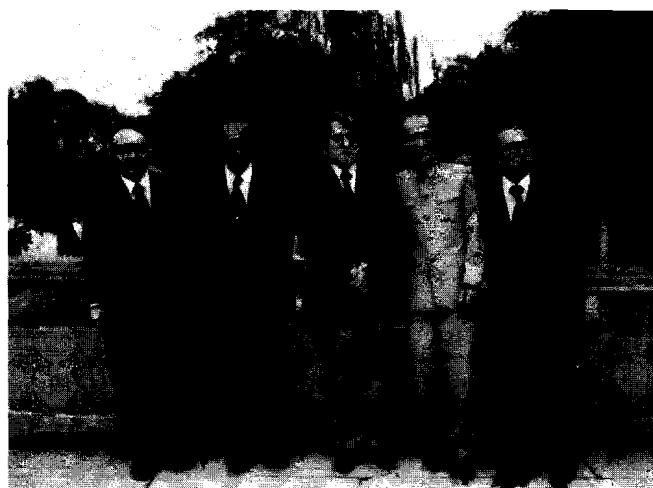
カット・下図ほか

60	森と湖の国	1963	カット・その他	
61	はくば もり こしたず 白馬の森 小下図	1972	小下図	山梨県 富士山五合目のブナ原生林
62	ゆうせいしやく 夕静寂	1974	スケッチ	長野-岐阜県 奥穂高
63	ゆうせいしやく こしたず 夕静寂 小下図	1974	小下図	長野-岐阜県 奥穂高

(展示作品は都合により変更となる場合があります)



桂林でのスケッチ



昭和58年 日本文化交流協会の一員として中国を訪問

東山魁夷 (ひがしやま かいい) 略歴

明治41 (1908) 年横浜に生まれ、3歳のとき神戸にうつる。東京美術学校日本画科を卒業。昭和8 (1933) 年ドイツに留学。日展に出品をつづけ、22 (1947) 年特選受賞。31 (1956) 年日本芸術院賞受賞。40 (1965) 年日本芸術院会員となる。44 (1969) 年文化勲章受章。皇居新宮殿壁画、唐招提寺御影堂障壁画等を制作。平成11 (1999) 年5月6日逝去。享年90歳。

東山魁夷館

東山魁夷は東京美術学校の学生時代から、信州へのスケッチ旅行を重ね、長野県を「私の作品を育ててくれた故郷」と呼んでいました。平成2 (1990) 年、長野県に家蔵の本制作、スケッチ、習作、下図等、500余点が寄贈され、長野県信濃美術館に併設して東山魁夷館が開館しました。

作品の分類について

「本制作」は、主に展覧会への出品を前提に描かれたもので、当館収蔵の作品は1970年代から晩年にいたる作品が中心となっています。

「スケッチ」「習作」は、東山魁夷自身による分類で、「スケッチ」が实景の写生であるのに対し、「習作」は構図や色彩に作者なりの解釈をほどこしたもので、内容的には本制作に一步近づいたものといえるでしょう。